

東京工業大学「循環共生圏農工業研究推進体」 キックオフシンポジウム

開催趣旨:

世界の「生産性至上主義」による搾取(収奪)型近代文明・農業科学は「環境土壌汚染・土壌機能の低下・地球環境(生態系)物質循環系の破壊」、すなわち、「地球温暖化と生物多様性減少」の二大環境問題の根源の一つとなっている。この問題を解決するために、「循環共生圏農工業研究推進体」は東京工業大学の最先端科学技術を領域横断的に総動員し、畜産・畑作複合体をモデルとしたSDGs時代の循環型農業の基盤技術および社会制度設計を確立する。

日時: 2019年8月19日(月)13:30-18:00 (12:30 受付開始)

場所: 東京工業大学大岡山キャンパス蔵前会館(東京都目黒区大岡山2丁目12-1)

主催: 東京工業大学循環共生圏農工業研究推進体

協賛 情報計算化学生物(CBI)学会

プログラム:

開会挨拶 13:30 -

(推進体代表挨拶) **山村雅幸**情報理工学院教授

(来賓挨拶) **原田義昭**環境大臣

(本学関係者挨拶) **益一哉**学長

基調講演

川又孝太郎(環境省, 環境計画課長)

「地域循環共生圏の創造-日本発の脱炭素化・SDGs 構想-」

白戸康人(農研機構, 温暖化研究統括監)

「土壌への炭素貯留~持続的食料生産と気候変動緩和の両立」

西田武弘(帯広畜産大学, 教授)

「反芻家畜のメタン抑制による地球温暖化対策」

東工大循環共生圏農工業関連研究紹介

和地正明(生命理工学院, 教授)

「土と微生物と植物」

山本直之(生命理工学院, 教授)

「微生物による家畜、牧草、土壌の改善」

山村雅幸(情報理工学院, 教授)

「循環共生圏農工業におけるメタゲノム解析」

小長谷明彦(情報理工学院, 教授)

「分子ロボットの過去・現在・未来:循環共生圏農工業への展開」

瀧ノ上正浩(情報理工学院, 准教授)

「循環共生圏農工業におけるナノ・マイクロ生体分子ロボットの可能性」

室町泰徳(環境・社会理工学院, 准教授)

「気候変動時代の都市地域計画」

吉本護(物質理工学院, 教授)

「ナノテク X 光 X 物質のコラボによる自然共生サイクルのための新機能材料の創製」

三平満司(工学院, 教授)

「サイバーフィジカルシステム考-ある制御屋のつぶやき-」

閉会挨拶 17:55-18:00

講演会参加費: 無料(当日受付可)

事前参加申込み:

ホームページ(<https://symbiotic-ecosystems.info/>)からお申し込みください。

お問い合わせ:

東京工業大学循環共生圏農工業研究推進体実行委員会

TEL:045-924-5654